



2530

いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18 承認 1953.6.29

- 事務局／福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F
- 例会場／いわきワシントンホテル椿山荘
- 例会日／毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

(0246) 25-3000
(0246) 35-3000

会長：山野辺倉平 幹事：阿部 弘行 発行：会報・広報委員会

第 2831 例会（6号） 2012年8月9日（木）晴れ

外部卓話 SPEECH

「いわき市の震災復興 土地区画整理事業」

いわき市都市計画課主幹兼課長補佐
比佐 圭三郎 氏



東日本大震災に伴う津波により、いわき市では約 1,775ha が浸水し、損壊家屋数が約 8,170 棟、うち流出・全壊家屋数は約 2,310 棟に上った（国土交通省「津波被災状況調査」）。市では久之浜、薄磯、豊間、小浜、岩間の 5 地区について、「減災」の考え方を基本として、土地区画整理事業により復興を進めていく。他に未練、金ヶ沢など 4 地区では、防災集団移転促進事業により、高台などへの集団移転を計画している。

〈概要〉

○ 施工区域

久之浜地区 約 28.3ha、薄磯地区 約 37.2ha、
豊間地区 約 60ha、小浜地区 約 4.1ha、
岩間地区 約 11.6ha、合計 約 141.2ha

○ 防潮堤

防潮堤を海拔 7.2m に嵩上げする。小浜地区では、宅地確保のために海側に一部前出する。

○ 防災緑地

津波エネルギーの減勢、避難時間の確保などを目的に、防潮堤や海岸道路に沿って盛土、植林し、幅約 50m の緑地帯を設ける。

○ 道路

主要道の幅員を 14m に拡幅。他に幅員 12m の都市計画道路や幅員 6 m の区画道路、街区公園を整備。

○ 住宅団地

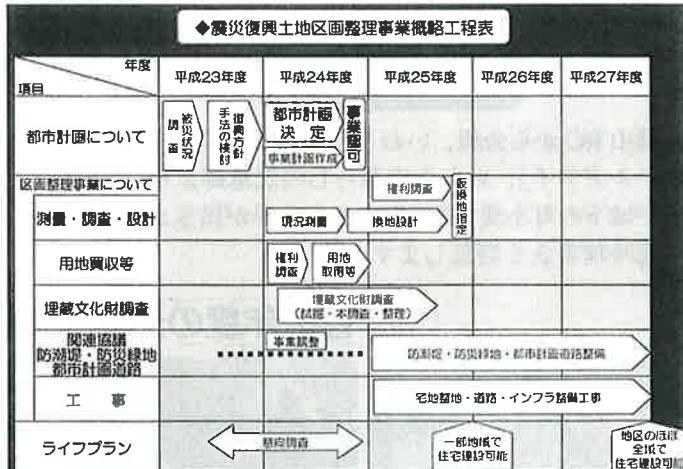
高台などに新たに宅地を造成。その際の残土を利用して浸水地域の嵩上げ盛土を進める。

〈今後の進め方〉

8月 3 日に震災復興土地計画整理事業の計画が決定した。現在は、現況測量や権利調査、埋蔵文化財発試掘調査などを進めている。

今後は、土地の買収や高台移転などに対する最終的な意向を確認しながら事業計画の策定を進め、平成 24 年度末の事業計画認可、25 年度末の借換地指定、27 年度末の工事完了を目指している。

住宅の建設や住宅団地の造成、防潮堤や防災緑地の整備については、可能な部分から順次工事に着手し、津波に対する安全性の確保を第一に、早期の事業完了を目指したい。



★本日の例会案内 8月23日(木)PM12:30~
会員増強委員会担当
お食事メニュー=豚肉のトマトチーズ焼き

★次回の例会案内 8月30日(木)PM12:30~
会員卓話
お食事メニュー=天重



2012~2013年度
国際ロータリーのテーマ

「奉仕を通じて平和を」

Peace Through Service

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：阿部幹事

[点鐘・ロータリーソング（我らの生業）・四つのテスト（吉田義尚会員）]

吉田義尚会員



◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

いわき市都市計画課主幹兼課長補佐・比佐圭三郎氏、同課計画係事務主任・藁谷進氏

表彰伝達：

松村耕三さんに米山功労者の感謝状が届き、山野辺倉平会長から伝達されました。



◆会長挨拶ならびに報告

立秋が過ぎて数日涼しいが、明日からまた暑くなりそうだ。体調管理に十分気をつけていただきたい。友人がナスとミョウバンが入った味噌汁を冷たくして飲むのが好きだと話してくれた。学生時代に、千葉の友人が生のキュウリスライスを冷たい味噌汁に入れてご馳走してくれた。涼を誘う食べ方はいろいろとあるものだ。残暑はまだまだ続きそうだ。今日はウナギを食べて元気に夏を乗り切りたい。



◆幹事報告

- 郡山RC から会報、いわき市国際交流協会より「ワールドアイ」、いわき市暮らしの伝承郷より「磐城平城下の町小展」開催案内と招待券が届きました。
- 臨時理事会を開催します。

委員会報告

◆出席委員会（志賀弘昌委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
8月9日	52名	35名	—

◆ロータリーの友の紹介（吉田義尚雑誌委員会副委員長）

紹介するにも、自分のクラブの投稿があった方がやりがいがあるので、ぜひ積極的に投稿をお願いしたい。生え抜きの皆さんには生涯に一度、転勤族の皆さんには在任中に一度は投稿をしてみてください。横組み1ページに田中作次 RI会長のロータリー体験があり、個人的体験に基づくメッセージの例「ロータリー・メント」を用意する話が紹介されている。我々も3行ぐらいに書き残しておくと便利だ。縦組み2ページに飯館村の菅野典雄村長が「お金の世界」から「いのちの世界へ」という文章を寄せている。日本には3回の転機があり、明治維新、終戦、そして今回の東日本大震災・原発事故だという。ブータン国王の例を引き、「無いものねだりより、あるもの探し」の時代だ、と提唱している。27ページに東京小石川クラブが福島県をはじめ被災地の親子をプロ野球に招待した活動を紹介している。

◆スマイルボックス委員会（松崎浩委員長）

♥山野辺倉平さん（残暑見舞） ♥阿部弘行さん（高3の娘が18日間のホームステイを終え本日帰国します。親バカです） ♥鈴木東雄さん（スミマセン早退します。誕生日ありがとうございます） ♥越智正典さん（比佐さん、藁谷さん、ごくろうさまです。卓話よろしくお願ひいたします） ♥志賀弘昌さん（比佐さん卓話よろしく） ♥関口武司さん（比佐様、卓話宜しくお願いします） ♥勝田博志さん（休みがちでスミマセン） 以上、7件

吉田年度の最終家族同伴例会スナップ

